



ANNIVERSARY

■ 滋賀県立大学 人間文化シンポジウム ■

『近江の渡来人を考える』

- 日 時 : 平成27年12月21日(月) 13時10分～18時00分
- 場 所 : 滋賀県立大学 A4-105 講義室
- 対 象 : 学生・教職員および一般(参加無料)

渡来人とは、およそ「倭国」が形成された1、2世紀より以後に、日本列島以外の地域、おもに朝鮮半島から渡来してきた人々を指しています。律令国家成立以後には帰化人ともよばれます。渡来人は、日本文化の形成に大きく寄与しており、日本の歴史を考える上でも重要な研究課題となっています。近江はそのような渡来人が多く住んでいた地域でした。大津の志賀漢人、愛荘の秦氏、また百済滅亡後の蒲生への百済貴族など。このような近江の渡来人については、これまでも多くの研究が進められてきましたが、改めて整理をする段階にきたと考えます。幸いに本学には、そうした問題と関わる研究者も、また大学院留学生もいますので、総合的に考える機会を作りたいと考えました。韓国から2人のこの問題に関わる研究者を招請し、彼らを含めたシンポジウムを開きたいと思います。ぜひ参加いただいて最新の知見を得、また問題を共有していただくようお願いいたします。

講演 (13:15～17:15)

1. 「文献からみた近江渡来人の概要」
田中俊明 (滋賀県立大学教授)
2. 「加耶・新羅考古学からみた渡来人」
朴天秀 (韓国・慶北大学校教授)
3. 「百済考古学からみた渡来人」 (韓国語・通訳有り)
権五榮 (韓国・ソウル大学校教授)
4. 「渡来系文物から見た近江の渡来人・渡来文化」
定森秀夫 (滋賀県立大学教授)
5. 「大津北郊地域渡来人の定着過程」
張聖峻 (滋賀県立大学大学院博士後期課程)
6. 「百済滅亡以後の百済系渡来人の動向」
崔恩永 (滋賀県立大学大学院博士後期課程満期退学)

パネルディスカッション (17:20～18:00)

問い合わせ先 〒522-8533 彦根市八坂町 2500 滋賀県立大学 人間文化学部

TEL 0749-28-8401 FAX 0749-28-8479